

千葉療護センターの機能強化の方向性

「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」報告書（抜粋）

V 今後の自動車事故被害者救済対策

1. 療護施設の充実

（1）当面の療護施設のあり方

現状・課題

- 全国4箇所に設置・運営している療護センターのほか、平成19年度以降、一般病院への委託病床の設置を各地で進め、療護施設の新設・増設を進めてきたところであるものの、関東地方の療護施設では相当数の待機患者が生じており、その解消が必要である。
- 一方で、療護施設全体では相当数の空床が生じている現状もあることから、当面の療護施設のあり方を整理することが必要である。

今後の対応

- 当面の療護施設のあり方は、関東地方への新たな小規模委託病床の設置後、当面は療護施設全体の体制を維持するとともに、療護施設において提供される「サービスの充実」に重きを置く方向で検討すべきである。
- 療護施設全体の体制の維持にあたっては、当面の間、空床や待機患者の発生状況等の利用状況を注視することとし、その状況を踏まえ、必要が生じた場合には、療護施設の新設・増設の検討をすべきである。
- 「サービスの充実」は、自動車事故被害者団体等からリハビリテーションに対する要望が多く寄せられていることを踏まえ、療護施設退院後、在宅介護に移行された方が療護施設においてリハビリテーションを受けられる機会の充実を図る方向で検討すべきである。

「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」報告書（抜粋）

V 今後の自動車事故被害者救済対策

1. 療護施設の充実

（2）療護センターの老朽化対策と今後のあり方

現状・課題

- 昭和59年設置の千葉療護センターをはじめ、療護センターの経年劣化が進行しており、順次、老朽化対策を講じていくことが必要である。
- 療護センターの利用者及びその家族のほか、自動車事故被害者団体より、療護センターが提供するリハビリテーションの充実を期待する声が多く寄せられているところ、ただちにこのような期待の声に応えられる環境ではないことから、期待に応えるための環境整備が必要である。

今後の対応

- 全国4箇所で開催・運営している療護センターを対象に順次、老朽化対策を講じていくことにより、引き続き自動車事故被害者が安心して利用できる環境を整備すべきであり、まずは最初に設置され、設置後35年以上が経過している千葉療護センターから老朽化対策を実施していくべきである。
- 老朽化対策に際しては、限りある財源を最大限有効活用する観点から、これまでの経験に基づいた真に必要な機能の確保に努めるほか、最も経済的かつ効率的な方法による対策を講じていくことを検討すべきである。
- また、その際には、例えば、「リハビリの充実」など、時代によって変化する利用者ニーズを的確に捉えることが重要であり、それぞれの療護センターにおいて老朽化対策を行う時期における具体的状況を踏まえて最適な機能強化に取り組むことを検討すべきである。

「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」報告書（抜粋）

- V 今後の自動車事故被害者救済対策
 - 2. リハビリテーションの機会等の確保
 - （1）リハビリテーションの充実
 - ①遷延性意識障害の場合

現状・課題

- 療護施設における治療によって機能改善が図られた場合であっても、療護施設退院後、その機能を維持し、さらなる改善につなげていくためには、継続的なリハビリを実施していくことが必要不可欠である。
- 一方で、遷延性意識障害者が回復期を経過した後の維持期・慢性期において十分なりハビリテーションを受けられる病院や施設等は少なく、その機会を確保することが困難であるとの声が自動車事故被害者及びその家族から寄せられている。
- また、（略）療護センターでの短期入院時におけるリハビリテーションの実施に係る要望も多く寄せられている。

今後の対応

- 一部の療護センターにおける短期入院時のリハビリテーションの実施を検討するとともに、千葉療護センターにおける老朽化対策に際しては、老朽化対策に併せて療護施設におけるリハビリテーション対応の強化に向けた取組を試行的に実施することを検討すべきである。
- これら療護センターにおける取組に関しては、この効果検証を踏まえ、他の療護施設への展開に取り組んでいくことを検討すべきである。

<進め方>

- 👉 高潮による浸水、新型コロナウイルス感染症、施設の老朽化など既に課題が明らかになっている以下の事項については、『**既存の施設の問題点に対処すべき事項**』として整理。
 - 第1回にフリーディスカッションを行い、第2回・第3回で議論を行い、対策を検討
- 👉 一方、課題としては認知されているものの、ニーズ把握を元に判断をすべき以下の事項については、『**コンセプトの刷新が必要とされる事項**』として整理。
 - 第1回でフリーディスカッションを行うとともに、ニーズ把握方法について議論把握したニーズを元に、第2回・第3回で議論を行い、対策を検討

<検討の方向性>

- 👉 上記の検討結果を踏まえ、千葉療護センターに最低限必要とされる機能を設定したうえで、今後**必要とされる機能内容に応じた複数プラン**を設定。
 - 第4回で段階的な老朽化対策を策定

